



津の今、
最前線!

FRONT LINE

こどもの笑顔が
輝くまち



1 切れ目のない支援で 妊娠期から子育て期をサポート



少子化が加速する現代で、こどもを産み育てることを望む全ての人が安心して子育てができる環境の整備や、子育て世帯の経済的な負担軽減への取り組みなど、総合的な子育て支援が求められています。津市では、妊娠期から子育て期のさらなる支援強化のため、こどもと妊産婦の医療費の窓口無料化や所得制限の撤廃など、新たな施策を推進しています。津市は、子育てを全力で応援します！



2 こども園を整備！ もっと通いやすい園、働きやすい園へ



保育所等の利用者が増加する一方で、幼稚園の利用者は年々減少。この状況を解消し、幼児教育の適正規模を保ちながら保育の提供拡大を進めるため、公立の幼稚園と保育所を一体化して、幼保連携型認定こども園を整備してきました。

また、使用済み紙おむつの持ち帰りルールを見直し、保育施設で回収・処分する仕組みを構築するため、県内で初めて園への補助金を創設。さらに、保育士・幼稚園教諭として働く人を応援するため、私立認可保育所等で採用された保育士・幼稚園教諭等に支援金を交付しています。今後も時代のニーズに応じた子育て政策を展開します。



ボートレース津 × 津市の子育て政策

ボートレース事業収益金で基金を創設

津市の子育て政策を推進するため、将来にわたり安定的に財源を確保する必要があることから、ボートレース事業収益金を活用した「こども基金」と「学校施設整備基金」を創設。医療費の助成や、校舎の改修工事など、こども・子育てに関わる津市独自の政策に活用します。



3 学びを応援する架け橋プログラム & GIGAスクール構想の実現

幼保小の連携により、幼児教育と小学校教育のさらなる質の向上を目指した「津市架け橋プログラム」に取り組み、接続期における教育の充実・改善を図っています。

また、全ての市立小・中・義務教育学校でタブレット端末を導入し、ICTを活用した双方向型の授業を行うとともに、一人一人のニーズに合った学習ができるようにしています。



4 元気いっぱい楽しもう！ 安全で楽しい遊び空間を整備



豊富な遊具と広い芝生が人気の「中勢グリーンパーク」は、Park-PFI事業の導入により2023年に芝そりグレンデやバーベキュー場などがオープン。また、ネットアスレチックやボルダリングが人気の「げいのうわんぱーく」では、天候を問わずこどもたちが元気に駆け回ります。他にもキャンプ場やプール、水辺の公園など、1日中楽しめるお出かけスポットがいっぱい！



中勢グリーンパーク



ヒストリーパーク塚原



げいのう わんぱーく

5 家族になろうよ！ 市主催の出会い応援事業が充実



未婚率の上昇や晩婚化の進行により全国的に少子化が急速に進む中、津市では「出会い応援事業」を通して少子化対策に取り組んでいます。婚活イベントや結婚支援に関する各種セミナー、出会いに関する相談会の開催など、さまざまな形で出会いや結婚の希望がかなう環境づくりを進めています。

